



2月トリアだより



2月の活動



月	火	水	木	金	土
			1 感触・ルール 	2 豆まき・運動 	3 休み
5 音楽・絵画 スモック	6 屋外・手指 帽子	7 ルール (早降園日)	8 運動 認知課題 	9 音楽・絵画 スモック	10 感触
12 休み (振替休日)	13 感触・ルール 	14 運動 認知課題 	15 音楽・絵画 	16 屋外・手指 帽子	17 休み
19 感触・ルール 	20 運動・誕生会 	21 音楽・絵画 スモック	22 屋外・手指 帽子	23 休み (天皇誕生日)	24 ルール
26 運動 (避難訓練) (早降園日)	27 音楽・絵画 スモック	28 屋外・手指 帽子	29 感触・ルール 	※感触遊びは新聞紙で遊びます。 今回、スモックは必要ありません。	

※専門職の来所予定日

公認心理師(松本): 24日(土)、26日(月)、28日(水)、29日(木)

言語聴覚士(永山): 5日(月)、6日(火)、10日(土)、16日(金)、21日(水)、22日(木)、26日(月)、28日(水)

理学療法士(樋口): 2日(金)、8日(木)、16日(金)

作業療法士(大平): 9日(金)、19日(月)、20日(火)、27日(火)

- ・持ち物全てに記名をし、持たせて下さい。また、記名がない場合は事業所にて記名をさせていただきます。ご理解のほどよろしくお願い致します。
- ※当日のキャンセル連絡は、お電話にて9時00分までに連絡をお願い致します。9時00分以降の連絡になりますと、**昼食代(264円)が発生します。**
- ・活動時間確保の為、9時50分～10時15分までに登園下さい。10時15分までに登園されない際は、ご連絡させていただきます。
- ・降園時の引き継ぎを13時30分頃より開始しています。13時45分までに来所されない場合は、一度ご連絡させて頂きます。
- ・下着(パンツ)の貸し出しがあった際は、未使用の物を返却して頂きますよう、よろしくお願い致します。
- ・トイレトレーニングを行っている方は、トレーニングセット(パンツ、スポン、Tシャツ、肌着、ビニール袋)を袋にまとめて準備をしていただきますよう、お願い致します。
- ・着替えた衣類を入れる袋を、必ず持たせて下さい。(スーパーのビニール袋等で構いません。)



～6年間を振り返って～

児童発達支援ルウ保護者 碓 千恵美

我が家の第一子として産まれた息子も、月日が経つのはとても早く、4月からは特別支援学校へ入学するピカピカの1年生です。大人数や待つことが苦手で自由が大好きな息子は現在、大自然の中にある規模が小さな保育園に通園し、ルウを含む3カ所の療育施設に通っています。就園前は、ママ友や息子のお友だちをつくるために近所の児童館や、未就園児教室などのイベントに毎日のように出向いていました。その際、息子とお友だちを比較すると、不安になる場面が多々あり、近所の療育施設へ2歳前から通うこととなりました。引越したり転園の関係で、年少からはご縁をいただいた歩路、年中からはルウを利用しています。毎日楽しんで保育園や療育に通っている息子ですが、日々の困りごとや悩み等が出てきます。その旨をコドモンで相談すると、電話や面談で先生方がこちらに寄り添ってくださるのでとても心強いです。先生方を含めた周りの方々のサポートもあり、ゆっくりではありますが息子自身もできることが増え、確実に成長している姿が頼もしいです。落穂会さんでは、イベント等も豊富で、家族全員で楽しませていただき、感謝の気もちでいっぱいです。4月からはニボポでお世話になります。これからも末永くよろしくお願い致します。



～大切な居場所～

放課後等デイサービスシュバル保護者 吉村 千春

我路・シュバルに通い始めて9年が経ち、あっという間に娘も中学3年生になりました。普段はどうしても“もう少し、もう少し”と頑張りを期待してしまいましたが、この9年でひらがなとカタカナの読み書き、1人で階段の上り下り、意思表示、身支度、怖がっていた馬のお世話が好きになり、1年以上をかけて乗馬ができるようになりました。今では「レッスンは？」と楽しみにしているなど、マイペースな娘なりの成長を感じ嬉しく思います。そんな娘も中学1年生のときに、不登校を経験しました。夜寝付けなくなり、夜間も不安で目が覚め泣き出してしまい、学校へ行きたい思いもあり向かっても校門で泣き出して動けなくなる。約1ヶ月半学校を休み、付き添いで学校を散歩したり図書館へ行ってみたり、短時間登校をしたりと娘のつらさに寄り添いながら「どうすればいい…」と答えの出ない不安な日々を親子で苦しんだこともありました。妹や弟のごと、私自身の精神的な負担や仕事もあり、休み続けられるはずもなく困った末にシュバルへ相談させてもらい、学校へ行けない日は朝から利用させていただき、徐々に精神的に落ち着き、生活リズムも戻り、なんとか学校へ行けるようになりました。親子で本当にしんどかったあの時、先生方に支えていただき、感謝しかありません。今では、リハビリや通院を除き週6日楽しそうにシュバルへ通っています。シュバルが冬休みの間は、「シュバルいつから？〇〇先生いるかな？〇〇ちゃん来るかな？」のやりとりが日課のようになり、毎日カレンダーの確認をして開所を楽しみにしていました。娘にとってシュバルは、楽しくて居心地の良い場所であり、学校で頑張った疲れを癒せる場所、精神的なバランスを保つための“大切な居場所”になっているんだと実感しています。環境の変化に敏感な娘にとって“居場所”と想える場所があることは、娘だけでなく障がいをもつ子どもを育てる親の私たちにとっても支えになります。今までたくさんの壁にぶつかり悩みながら、娘ののんびりなペースを急かしつつ、1つひとつできるようにと向き合ってきました。4月からはいよいよ高等部へ、新しい環境と将来について考えるという壁に不安しかありませんが、これからも辛抱強く娘に付き合っていくと思います。いつも寄り添い、優しく楽しい声かけやたくさんの支援をしていただき、ありがとうございます。お迎えの時はいつも「楽しかった～まだ遊びたい」と帰りたいアピールでしぶしぶ帰路につくのは、“今日も楽しかった”の証。あと3年…娘には大好きなシュバルで心を健康に、そして楽しく学び楽しく過ごしてほしいです。

